



スイスで最も美しい山“カンツェリ“ (**Chänzeli 標高 1464m**) へようこそ！

前アルプス山系先端の島ともいえる形で広がるリギ山。それは私達の眼前に堂々たる景色を現します。

そこは、フィアバルドシュテッテ湖 (Vierwaldstättersee) の水平面からおよそ 1000 メートルの高さに位置し、晴天日にはスイス国の半分、ドイツのシュバルツヴァルト、フランスのヴォージュ山脈までを見渡すことができ、壮大な日没を眺める事もできます。

200 年前、観光地としてオープンした時、カンツェリからの展望は、多くの観光客を即座に魅了しました。1871 年、カンツェリは世界でも有名な展望台となったのです。

## 山岳

地理: リギ山は大昔約 5 億年前、ウリ州のロイス川から流出した石が堆積し、造山運動による地殻変動によって盛り上がりできあがりました。リギ山には水流により丸くなった石をみる事ができ、ドイツ語ではその丸い石を“ナーゲルフルー“ (Nagelfluh (或いは Molasse) と言います。山の麓では氷河時代におよそ 1000m の厚さの氷河が流れ込み谷や湖を作り上げましたが、リギ山の霧の海はまさに広大な氷河を想像させます。

植物相: リギ山ではおよそ 900 種類の花植物、300 種類の地衣類と 100 種類のコケ類が生息します。このような植物の種類の豊富さは、リギ山南部は温度差の少ない穏やかな気候を保ち、北風から守られリギ山の麓は湖の照り返しにより暖められていること、又、温暖で乾いたフェーン現象により植物育成期間は長く、秋と冬の寒い季節でも山頂部は霧の海の上にそびえ立っているため、穏やかな気候条件が保たれていることなどの、リギ山が好地形条件と好気候条件を備え持つゆえです。

また、リギは氷河期に氷のない山頂を有していたため 100 種以上の豊富な高山植物が生息しております。

リギ地方では 37 種類の地元特有の蘭が立ち入り困難な場所で咲いています。リギ山がまたいでいるルツェルン州とシュヴィーツ州の大部分が植物保護地域であることから、リギ地方で見られる風景と地域は国の重要性を意味しています。

森林: リギの 40% は森林を示し、森林地帯は湖から山頂まで延びており、傾斜が激しく農業に相応しくない山岳地帯を含んでいます。これが森林の種類におき大きな多様性をもたらし、リギ山の麓から頂上のクルム (Kulm) まで植物群落が見られます。

„プロリギ“は 570 人以上のメンバーから成り立った自然保護組合です。リギ地帯の継続的な開発に力を注ぎ、地元の住民と自然と風景を愛する観光客の方々との関係を深めることを目的としております。

保護: 40 人以上から構成されているリギ山の管理人は自然と植物保護地帯の保護と監視をルツェルン州とシュビーツ州から任命されています。リギを訪れる観光客の方々に必要な応じ情報を提供させて頂き、自然保護地、河川湖保護、登山道、農業地、埋立地、建築、土木、交通整備など環境を監視し管理人長に連絡をする役目を持っております。

エクスカーション: „プロリギ“は春と夏の季節にリギ山の美しい植物の世界をご紹介します。季節により異なったおよそ 3 時間あまりの簡単で変化に富む小道での登山をご案内いたします。“山の女王“と言われているリギ山をご紹介します。

花々の道: 花の道は リギ・カルトバード (Rigi Kaltbad) からカンツェリ (Chänzeli)、シュタッフエル (Staffel)、フェルゼンペーグ (Felsenweg: 岩道) まで続きます。開花時期にはその花の種類の名前の立札が付けられます。シーズン中には 200 種類以上の花々が観察でき、67 種類の花々の写真と名前が掲載されているカタログを無料で提供いたします。